

「中学生の時まで実家のすぐ隣が食堂で、具材を刻むことや皿洗いの手伝いが日課だった」

石岡さんが営む『なちゅう』は、取材日の令和5年11月7日で9周年を迎えた。ほぼ毎日、朝2時から約5時間かけて25種類ほどの弁当や惣菜を作っている。



淋鶏、やみつきチキン、油揚げびたし、にくやさしいため、サンドイッチ、糸コンのチャプチャ風、かにたま、オムライス、2色のそぼろ丼、おにぎり、まよから丼など、その種類の多さに目移りしてしまうこと間違いなし



1. お店の外観
2. 店内に並ぶ惣菜や弁当の数々
3. バターライスが絶品！
オムライス
4. 5. 注文を受けた時などに作
る弁当。惣菜の配置は日々勉
強をしている。

弘前市大清水の会社でも販売しているが、他には林檎の森、中三デパートの地下1階総菜売り場、弘前学院大学の購買部へ納品していく、直売所での取扱いは、林檎の森だけである。

前述の食堂はなんでも美味しいかったそうだが、経営者のご夫婦のことも大好きだったといつ。今はなくなってしまった、弘高下駅近くの天金(てんきん)食堂。「特にラーメンが好きだった。今はどんな料理でも作るが、ラーメンの出汁だけはレシピがあつてもうまく作れない。きっと感覚の世界なんだろ？」林檎の森スタッフに勧められた、なちゅうさんのオムライスは、香り良いバターライスが特徴だった。「この値段でこの品質のご飯が食べられるなんて」というのが率直な感想。やみつきチキンも味が染みていて、幸せな気持ちになつた。みなさんにわざわざ食べてほしい。

JA相馬村広報 りんごの森

2023.11 Vol.496

■発行者 相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集 総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日 2023年11月15日

本所	0172-84-3215(代)
本所フルーツステーション	0172-84-3293(代)
本所フルーツステーション特産販売	0172-84-3218(代)
J A 共済事故受付センター	0120-258931
湯口支所・機械化センター	0172-84-2470(代)
湯口セルフスタンド	0172-84-2550(代)
直売所「林檎の森」	0172-84-3411(代)
津軽LPガス保安センター	0172-36-0404(代)
ライスセンター	0172-84-2217(代)
りんご加工センターA棟	0172-84-3380(代)
相馬支所・フルーツステーション	0172-84-2534(代)
J A 津軽葬祭センター	0120-7676-60